

税金はくらしの拡充へ!

「軍拡NO!」全国連など 新署名よびかけ

「軍事費 8 兆 7000 億円! という政府予算」「外国を攻撃するためのミサイル配備、日米一体の「敵基地攻撃」態勢を整備など、『戦争の準備』『戦争国家づくり』そのもの」「一方で高額医療費の負担増など、本来必要となる社会保障の予算を 1300 億円も削減。更に中国包囲網の軍事ブロック強化を言う米トランプ政権言いなりにさらなる軍拡を誓約した石破首相の『日米同盟絶対』化こそ重大」「いま必要なのは大軍拡ではなく暮らしの充実」とする新たな署名推進のよびかけが大軍拡・大增税 NO! 連絡会、憲法共同センター、「総がかり」実行委員会から 17 日行われました。

「税金はくらしの拡充に 戦争準備の軍拡は中止して、憲法、平和、いのち、くらしを守る政治への転換を求める請願署名（略称＝大軍拡反対請願署名）」です。（写真上 2/8 デモ）

「税金はくらしへ!」参院選の大争点に

近文台（旭川）、足寄、白老、北富良野など道内での「弾薬庫」配備などにも巨額の支出が盛られる政府予算案に対し、共同「よびかけ」は、「この署名を大きく広げ、7 月に行われる参議院選挙へ向け大軍拡 NO の声を争点に押し上げ、参議院でも自民党、政権与党を過半数割れに追い込み、政権交代・憲法にもとづく新しい政治へとしています。

国会前では昨日 19 日「総がかり」実行委が集会（写真右）、「税金は軍事費でなく暮らしへ」「署名をすべての職場、地域、学園で」のよびかけが行われて得います。



停戦継続!「駅前で描かれた涙の一つひとつが命を守る」これからも!

トランプの「ガザ所有」「再び地獄になる」発言にもかかわらず継続された停戦。16 日、道パレスチナ医療奉仕団よびかけの緊急札幌駅前アクションには、道憲法協同センター、市民の風北海道はじめ多数の人が参加、「赤い涙」が描かれスピーチが続きました。（写真左）

「この涙の一つひとつ、世界中で上げられた声が 1 月 19 日からのガザ停戦、そして今日の停戦継続を実現したのでは？」

と声が響いた札幌駅前。3 月 21 日からはチカホ「憩いの広場」での写真展も。

●核なき世界へ 3/6 札幌駅前アクション 12:15 ●基地交流集会 3/20 に（民医連会館）